



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月11日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ 上場取引所 東 名
 コード番号 7514 URL <https://www.hmry.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小森 裕作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三井 宣明 TEL 058-271-6622
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	45,238	2.7	1,269	△32.5	1,378	△35.5	1,031	△23.6
2022年8月期第3四半期	44,049	—	1,879	1.5	2,136	7.1	1,349	5.0

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 1,057百万円 (△11.9%) 2022年8月期第3四半期 1,199百万円 (1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	84.00	—
2022年8月期第3四半期	110.05	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しております。

売上高については、当該会計基準を適用後の数値となっており、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	42,734	16,914	39.6
2022年8月期	38,260	16,177	42.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 16,914百万円 2022年8月期 16,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2023年8月期	—	13.00	—		
2023年8月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年8月期 期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	1.0	2,200	7.8	2,400	1.4	1,480	3.4	120.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	12,320,787株	2022年8月期	12,320,787株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	33,793株	2022年8月期	65,183株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	12,276,531株	2022年8月期3Q	12,266,106株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 決算補足説明資料の入手方法

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年9月1日～2023年5月31日）における我が国の経済は、行動制限や海外渡航制限の緩和が進んだことにより、社会活動に改善が見られました。一方、不安定な海外情勢の継続、世界的な金融引き締めに伴う為替の変動などにより、物品・サービスの値上げの傾向が顕著となり、今後の国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、様々な制限を受けていたスポーツ活動が正常化しております。天候面におきましては、冬場の気温の変動幅が大きかったこと、春先の気温上昇が急激であったことなどから、アパレル系商品への需要が高まりにくい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店、主力の既存店舗のリニューアル等、中長期的な視点に立ったリアル店舗の販売基盤の強化に取り組んでまいりました。特に、本社所在地の岐阜市江添は、スポーツ本館の全面リニューアル、アウトドア専門店の新設により、既存のゴルフ本店と合わせて国内最大級の規模の体験型スポーツショップエリアとなりました。また、西日本エリアにおける旗艦店の八幡西店の全面リニューアルやゴルフ専門店の出店に加えて、2023年4月末には、3店舗同時オープンを行う等、中期経営計画上の出店戦略も着実に実行してまいりました。加えて、ヒマラヤ・アプリと自社ポイントサービス「ヒマラヤポイント」のリリースを始めとしたデジタル領域強化やEC事業拡大のための施策につきましては、優先順位を高めて注力しております。

売上高は改装店、新店ともに好調な滑り出しとなり、既存店も堅調に推移し、EC事業においても、販売力強化に努めたことにより、前年同期を上回る結果となりました。

商品別の売上動向としては、一般スポーツ用品は、部活動をはじめとする様々なスポーツ活動の正常化による市場回復が進んだこと、スキー・スノーボード用品は降雪に恵まれたシーズンとなったことから好調な推移となりました。ゴルフ用品、アウトドアのキャンプ用品は、コロナ影響下の需要も一巡感が意識されるものの、アウトドアアパレルやトレッキング需要については、引き続き好調に推移しております。

売上総利益率は、気温動向の影響を受けたアパレル、ロックダウンの影響により納品が遅延していた商材の受入れ等により、需給バランスの調整段階にあるキャンプ用品について、在庫削減を進めている影響により、引き続き低下傾向にあります。

販売費及び一般管理費については、新店出店、既存店舗の大規模リニューアルに関連する費用負担に加えて、リアル店舗の光熱費を始めとするコスト上昇の影響を受けながらも、経費の削減活動に努めてまいりました。

出退店の状況については5店舗を出店し、2店舗を退店いたしました。2023年5月末時点で当社グループの店舗数は全国で98店舗、売場面積は214,985㎡であり、前年同期比で店舗数は変わらず、売場面積は3,283㎡増となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は売上高45,238百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益1,269百万円（前年同期比32.5%減）、経常利益1,378百万円（前年同期比35.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,031百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は30,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,974百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,682百万円減少したものの、商品が4,403百万円増加、売掛金が983百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,499百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が1,371百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は42,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,474百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は21,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,027百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6,524百万円増加したことによるものであります。固定負債は4,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,289百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が2,285百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は25,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,737百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は16,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ736百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末は42.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想につきましては、現在のところ、2022年9月27日に発表いたしました業績予想を据え置いております。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,676	6,994
売掛金	1,750	2,734
商品	14,753	19,157
貯蔵品	11	10
その他	1,013	1,284
流動資産合計	27,206	30,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,376	4,748
土地	1,388	1,388
リース資産	—	4
建設仮勘定	471	2
その他(純額)	264	788
有形固定資産合計	5,501	6,932
無形固定資産		
ソフトウェア	272	448
その他	63	49
無形固定資産合計	335	497
投資その他の資産		
投資有価証券	1,189	1,087
長期貸付金	448	403
差入保証金	2,820	2,870
繰延税金資産	235	296
退職給付に係る資産	329	317
その他	207	161
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	5,216	5,122
固定資産合計	11,053	12,553
資産合計	38,260	42,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,129	16,653
1年内返済予定の長期借入金	2,696	2,528
リース債務	—	1
未払法人税等	426	227
賞与引当金	409	506
店舗閉鎖損失引当金	39	23
その他の引当金	70	55
資産除去債務	7	15
その他	1,574	1,368
流動負債合計	15,353	21,380
固定負債		
長期借入金	5,534	3,248
リース債務	—	3
資産除去債務	834	864
その他	360	322
固定負債合計	6,728	4,439
負債合計	22,082	25,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	3,998	3,998
利益剰余金	9,604	10,283
自己株式	△65	△34
株主資本合計	16,081	16,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88	△9
繰延ヘッジ損益	3	0
退職給付に係る調整累計額	181	132
その他の包括利益累計額合計	96	122
純資産合計	16,177	16,914
負債純資産合計	38,260	42,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	44,049	45,238
売上原価	27,735	29,131
売上総利益	16,313	16,106
販売費及び一般管理費	14,434	14,837
営業利益	1,879	1,269
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	17	20
仕入割引	15	11
受取賃貸料	103	96
協賛金収入	33	33
助成金収入	85	4
システム導入負担金	60	—
その他	64	59
営業外収益合計	385	230
営業外費用		
支払利息	20	15
不動産賃貸費用	95	94
その他	12	11
営業外費用合計	129	121
経常利益	2,136	1,378
特別利益		
固定資産売却益	5	—
投資有価証券売却益	1	194
特別利益合計	6	194
特別損失		
減損損失	44	12
店舗閉鎖損失引当金繰入額	149	14
投資有価証券売却損	—	33
投資有価証券評価損	6	1
貸倒引当金繰入額	3	—
保険解約損	—	8
特別損失合計	203	69
税金等調整前四半期純利益	1,939	1,502
法人税、住民税及び事業税	617	510
法人税等調整額	△28	△39
法人税等合計	589	471
四半期純利益	1,349	1,031
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,349	1,031

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	1,349	1,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	78
繰延ヘッジ損益	18	△3
退職給付に係る調整額	△34	△49
その他の包括利益合計	△150	25
四半期包括利益	1,199	1,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,199	1,057
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。